

# コンプライアンス遵守：個人情報を守ろう!!

大学生協連関西北陸ブロック学生事務局

## 個人情報なぜ守る??：大学生協の信頼度に関わる問題！

個人情報は、本人が他者と区別したり関わりあったりするために利用する本人自身の持ち物です。たとえ第三者に提供されても、その個人情報は本人のものであり、第三者は、個人情報を使わせてもらっているだけにすぎません。つまり、自分の持ち物でない他人の個人情報を勝手に集めたり、使ったり、変更したり、提供してはいけません。

急速な情報化の進展が背景にあります。個人情報の多くが電子化され、大量の個人情報を容易に蓄積、利用することが可能になりました。しかしその一方で、大量の個人情報の外部への持ち出し、改ざんが容易になり、個人情報に関連する事件や事故が多発しています。

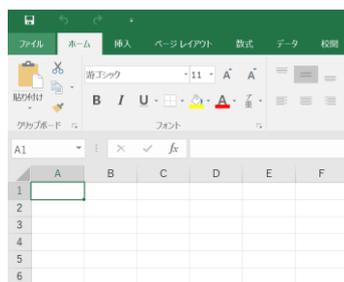
こういった状況下で個人情報に関連する事件、事故を起こすと、社会的な信用の失墜につながり、ひいては損害賠償請求がなされる場合もあります。

(参考：< <http://sugp.wakasato.jp/Material/Medicine/cai/text/subject12/no1/html/section2-2.html> >)

## 名簿など、個人情報が入ったファイルはパスワードをかけましょう！

これから新学期時期に向けて新入生の情報を扱う人が出てきたり、セミナーの申込で学生委員の情報を扱ったりすると思います。以下の点に注意しましょう！ぜひ生協内・委員会内でもルールを決めてください！

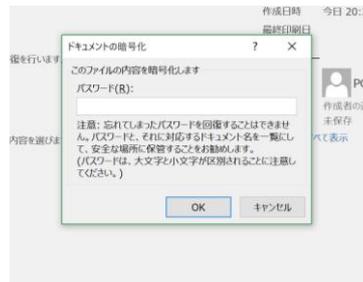
1. 個人情報が入ったファイルはデスクトップに保存しない！
  - ✦ ワンクリックで個人情報が見られるようにはしないでください。
2. できるだけ少数で安全な場所に管理をすること！
  - ✦ USBメモリやクラウド上には絶対に保存しません！
  - ✦ 保存するパソコン自体にも本人しかわからないパスワードをかけましょう。
  - ✦ 多くの人が個人情報を持っている状況は避けましょう。1～2人で管理してください。
  - ✦ 保存すべき期間が終わったら消去しましょう。
3. ファイルにはパスワードをかけましょう。
  - ✦ 例としてExcelファイルのパスワードのかけ方を載せます。



①左上「ファイル」をクリック



②「情報」から「ブックの保護」をクリック



③「パスワードを利用して暗号化」から設定。

## メールの使い方も注意！：BCC を活用しよう！

- 企画の参加者などに一斉にメールを送るときは、送った相手同士でアドレスを知られないようにする必要があります。その場合は、To.に自分のアドレスや生協のアドレスを入れたうえで、BCC (Blind Carbon Copy：ブラインド カーボンコピー) を利用します。
  - ◇ BCC がわからない人は職員や事務局に聞くか、ネットで調べてください！
- ファイルを添付して送る場合は、データが変化したり勝手に改変されたりしないように、PDF 化して送るなどの工夫が必要です。

(参考：NHK 高校講座[社会と情報] < [https://www.nhk.or.jp/kokokoza/tv/syakaijohou/archive/johou\\_09.pdf](https://www.nhk.or.jp/kokokoza/tv/syakaijohou/archive/johou_09.pdf) > )

## 最近の個人情報漏えい事件

### 中学校生徒の個人情報を含む USB メモリ紛失事件

横浜市は、中学校において、生徒の個人情報が保存された USB メモリを教諭が紛失したことを明らかにした。

同市によれば、中学校の教諭が業務用の USB メモリをポリシーに反して学外へ持ち出し、紛失したものの。問題の USB メモリには、1 年生と 2 年生 193 人分の氏名、学年と学級、社会科の成績などが保存されているが、パスワードが設定されているという。

教諭は部活動を終えた 7 月 7 日 11 時過ぎ、USB メモリをリュックに入れて退勤し、複数の店舗に立ち寄ったが、15 時半過ぎに USB メモリの紛失に気付いた。

同校では、対象となる生徒と保護者への説明と謝罪を行っている。

(引用元：Security NEXT < <http://www.security-next.com/096025> > )

### 個人情報を含む教員の私物パソコンが学内で盗難

東京大学は、教員が所有するパソコンが、学内で盗難被害に遭ったことを明らかにした。学生や非常勤講師の個人情報が保存されていたという。

同大によれば、同大総合文化研究科の教員が、7 月 9 日に学内のイベント参加中、パソコンを鞆ごと盗まれたもの。

問題の端末には、同教員が 2016 年度から 2018 年度まで担当した一部科目の受講生 384 人分の個人情報を保存。氏名、学生証番号、成績が含まれる。また非常勤講師 7 人分の氏名や住所、連絡先、生年月日を含むファイルが保存されていた。

端末内部のデータは、暗号化されていなかったという。同大では、対象者に文書による説明と謝罪を行っている。

(引用元：Security NEXT < <http://www.security-next.com/096228> > )